

令和元年度茨城県計画に関する 事後評価

令和 8 年 1 月
茨城県

3-1. 事業の実施状況（医療分）

| | | | | | |
|---|---|---------|---------|----------------------|-----------|
| 事業の区分 | 1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業 | | | | |
| 事業名 | 【No.1-4（医療分）】 地域医療提供体制再構築支援事業 （解体費等分） | | | 【総事業費】 744,849 千円 | |
| 事業の対象となる区域 | 筑西・下妻保健医療圏 | | | | |
| 事業の実施主体 | 茨城県（筑西市，桜川市，医療法人隆仁会（山王病院）） | | | | |
| 事業の期間 | 平成31年4月1日～令和7年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了 | | | | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | ・医師不足等により診療体制が脆弱となり，救急医療をはじめとする医療提供体制が低下している医療機関を再編統合し，地域の医療提供体制の強化を図る必要がある。 | | | | |
| | アウトカム指標： 再編統合による病院数の減 筑西3病院⇒2病院 | | | | |
| 事業の内容（当初計画） | 筑西地域の病院再編整備に係る，医療機関の事業縮小に要する費用への補助（解体費・除却損・退職金割増相当）（千円） | | | | |
| | 対象経費 | | R1 | R2 | R3以降※ |
| 解体費 | 筑西市民 | - | - | 583,858 | 1,406,680 |
| | 県西総合 | 229,689 | 344,533 | - | |
| | 山王 | 99,440 | 149,160 | - | |
| 除却損 | 筑西市民 | - | - | 12,000 | 376,470 |
| | 県西総合 | - | - | - | |
| | 山王 | - | 364,470 | - | |
| 退職金割増相当 | 県西総合 | 53,610 | - | - | 53,610 |
| 計 | | 382,739 | 858,163 | 595,858 | 1,836,760 |
| ※R3年8月～調査・解体設計 R5年12月～解体工事，R6年11月末完了予定 | | | | | |
| アウトプット指標（当初の目標値） | 補助対象医療機関数：3病院 | | | | |
| アウトプット指標（達成値） | 補助対象医療機関数：3病院（R1～R2：2病院， R5～R6：1病院） | | | | |
| 事業の有効性・効率性 | 再編統合による病院数の減 筑西3病院 ⇒ 2病院 | | | | |

| | |
|-----|---|
| | <p>(1) 事業の有効性</p> <p>平成 30 年度に新病院として 2 病院の開設があり、再編統合による病院数の減の目標を達成できた。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>令和 2 年度末までに旧県西総合病院及び旧山王病院の 2 病院は、補助を実施し、解体工事が完了した。旧筑西市民病院については、令和 5 年度に解体工事が始まり、補助を実施し、令和 6 年度に解体工事が完了した。医療機関の事業縮小に要する費用への補助を実施し、筑西地域の病院再編整備を進めることができた。</p> |
| その他 | |

3-2. 事業の実施状況（介護分）

| | | |
|------------------|--|--------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| 事業名 | 【No. 5-11（介護分）】 介護に関する入門的研修 | 【総事業費】 4,092 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 県内全高齢者福祉圏 | |
| 事業の実施主体 | 茨城県（委託先：一般社団法人 茨城県介護福祉士会） | |
| 事業の期間 | 令和6年4月1日～令和7年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | 高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築を図る。 | |
| | アウトカム指標： 【介護職員需給推計（2019年） 推計期間：令和元年度～令和7年度】 ・介護職員数 42,001人 → 49,020人 | |
| 事業の内容（当初計画） | 介護に関する入門的な知識や技術を習得する研修を実施し、研修修了後は福祉人材センターへの登録、マッチングに繋げる。 | |
| アウトプット指標（当初の目標値） | 研修参加人数 100人 | |
| アウトプット指標（達成値） | 研修参加人数 137人 (修了者数 135人) | |
| 事業の有効性・効率性 | 事業終了後1年以内のアウトカム指標値： 介護職員数の増加 → 介護職員の減少を最小限に留めることができた。 令和7年3月31日時点 介護職員数 42,905人 | |
| | <p>（1）事業の有効性</p> <p>本事業により、介護未経験者の介護分野への参入の契機づくりができた。今後はより一層、幅広い世代を対象に多様な人材の参入を促進し、介護人材の裾野の拡大を図る。</p> <p>（2）事業の効率性</p> <p>介護分野への多様な人材の参入だけでなく、地域住民においても介護に関する知識や技術を学ぶ機会となった。</p> | |
| その他 | | |

| | | |
|-------------------|--|--------------------|
| 事業の区分 | 5. 介護従事者の確保に関する事業 | |
| 事業名 | 【No. 5-14 (介護分)】 認知症介護等研修事業 | 【総事業費】 1,070 千円 |
| 事業の対象となる区域 | 県内全高齢者福祉圏 | |
| 事業の実施主体 | 茨城県 (委託先: 茨城県老人福祉施設協議会) | |
| 事業の期間 | 令和6年4月1日～令和7年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了 | |
| 背景にある医療・介護ニーズ | <p>認知症の人が住み慣れた地域において、安心して自分らしく生活できるよう、地域における認知症介護の充実強化を図る。</p> <p>アウトカム指標:</p> <p>【いばらき高齢者プラン 21 計画期間: 平成30年度～令和2年度】 ・介護職員数 36,514人 → 41,929人</p> <p>【いばらき高齢者プラン 21 計画期間: 令和3年度～令和5年度】 ・介護職員数 42,001人 → 47,012人</p> <p>【いばらき高齢者プラン21 計画期間: 令和6年度～令和8年度】 ・介護職員数 43,692人 → 49,020人</p> | |
| 事業の内容 (当初計画) | <p>① 認知症対応型通所介護事業所等の管理者となる者が、必要な知識を修得するための研修を実施。(年2回)</p> <p>② 指定小規模多機能型居宅介護事業所等の代表となる者が、必要な知識を修得するための研修を実施。(年1回)</p> <p>③ 指定小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者となる者が、必要な知識を修得するための研修を実施。(年2回)</p> <p>④ 認知症介護指導者養成研修修了者が最新の知識を修得するための研修に派遣。</p> | |
| アウトプット指標 (当初の目標値) | <p>① 認知症対応型サービス事業管理者研修の実施 (令和6年度末の受講者数 (累計): 2,681人)</p> <p>② 認知症対応型サービス事業開設者研修の実施 (令和6年度末の受講者数 (累計): 338人)</p> <p>③ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修の実施 (令和6年度末の受講者数 (累計): 584人)</p> <p>④ 認知症介護指導者フォローアップ研修への派遣 (令和6年度の派遣者数: 0人)</p> | |
| アウトプット指標 (達成値) | <p>① 研修の実施 年2回 受講者数: 67人 (累計: 2,641人)</p> <p>② 研修の実施 年1回 受講者数: 8人 (累計: 335人)</p> <p>③ 研修の実施 年2回 受講者数: 27人 (累計: 573人)</p> <p>④ 研修への派遣 受講者数: 0人</p> | |
| 事業の有効性・効率性 | <p>事業終了後1年以内のアウトカム指標値:</p> <p>研修受講者数の増加 → 観察できた。</p> <p>令和7年3月31日時点 介護職員数 42,905人</p> | |

| | |
|-----|--|
| | <p>(1) 事業の有効性 各研修の対象者に対し必要な知識を習得するための研修を実施し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることができた。</p> <p>(2) 事業の効率性 受講者の募集に関して、市町村介護保険担当課の協力及び県 HP への掲載により、より多くの受講希望者に研修実施を周知することができた。</p> |
| その他 | |